

令和7年度
消費生活相談の
まとめ

令和7年度は、2754件の相談が同センターに寄せられました。

訪問販売でのトラブル

新型コロナウイルスの影響で一時期減少していた訪問販売が再び増加しています。外壁工事、光回線、Wi-Fi、ウォーターサーバー、新聞などの契約トラブルによる相談が急増しています。

定期購入のトラブル

ネットで1回だけのつもりで購入したが定期購入だった、という相談が後を絶ちません。すでに2回目、3回目の商品が大量に届き多額の請求をされるなど、手口が変化しています。また、最終的に「購入する」というボタンを押さなかったのに、商品が届いたという事例もあります。

暮らしのレスキューサービスの
トラブル

トイレの詰まりや水栓の水漏れ、蜂やゴキブリなどの害虫駆除など、暮らしのレスキューサービスのトラブルが多発しています。作業後に「高額だった」と思っても、支払ったあとでは返金や減額交渉が非常に難しいのが現状です。

そのほかにも個人情報聞き出そうとする不審な電話やフィッシングメールによるカードの不正利用なども多発しています。

また、カード会社のカスタマーサービスに連絡しても電話がなかなかつながらない、ガイダンスが流れ何番を選んでもオペレーターと話せないなどの苦情も増加しています。人手不足や時代の流れで顧客対応が変化していることが原因だと思われます。

毎日の生活の中に悪質業者は潜んでいます。商品購入やサービスを依頼する際には、くれぐれも注意しましょう。

困消費生活センター

TEL 6319・1000
FAX 6319・1500